

プロフェッショナルになる！

NIKKEI
丸の内キャリア塾

issue



一橋大学大学院 国際企業戦略研究科教授

石倉洋子 さん

一橋大学MBAコースの看板教授である石倉洋子さんは、大
学卒業後、フリーの通訳として働きはじめた。常に関人
として国際派プロへの道を歩んできた。「NIKKEI丸の内キ
ャリア塾」では、2006年11月に「世界に通じるキャリアを
作る」をテーマに講演した。その後、世界に通じる「プロ」と
呼べる人材が日本で育っているのかを聞いてみた。

◆◆「国際派プロになれ！」は、みんなへの メッセージ誰にでも特別な能力はある

石倉洋子さんは、世界経済フォー
ラム年次会議（通称ダボス会議）を
はじめ、世界のさまざまな要人が集
まる国際会議に数多く招かれている。
そうした場に出ると、「日本の存在感
のなさ」をまざまざと感じるとい
う。「そもそも日本人は、そういう場
来ない。今、アジアで脚光を浴びて
いるのは、中国とインドが圧倒的で、
日本は話題にもなりません」
国際的な場で発表できること自体
日本にはないのかというと、決して
そうではない。

「例えば環境・エネルギーの分野は、
今、どの国も関心が高く、日本には
優れた省エネの技術があるし、『もっ
たいない』という価値観もある。でも、
それをアピールする人がいないので
す」
日本と周囲のギャップは広がるば
かり。それは、「周りが変化している
のに、日本だけが変わっていないか
ら」なのだと石倉さんはいう。
「今は産業革命に匹敵する激動の
時代。インターネットは、この5年
間で、権力構造を大きく変えました
けれど日本では、ルールを一気にひ
っくり返すことはできなかった。そ
うするには、成功パターンがシステ
ム化されていたし、既得権益の力も

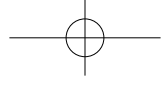
強すぎた。だから、少しずつ変えよ
うとして、いまだに堂々巡りをして
います」
**ネットに場所の制限はない
好きな世界に身を置く**
こうした日本の状況を打開するに
は、国際派プロフェッショナルの育
成が必要というのが石倉さんの思い。
医師であり日本学術会議会長（当時）
でもある黒川清さんとともに、『世界
級キャリアの作り方』という本を出
版してから1年半が経つが、「状況は
さらに悪化している」と実感してい

るそうだ。
「国際派プロフェッショナル」と聞
くと、一部の人の話だと思う人が多
い。しかし、石倉さんの考えるプロは、
「どんな人にも売りがある」が原点。
つまり、「国際派プロになれ」は、す
べての人へのメッセージなのだ。
すると今度は「私には売りが何も
ない」という人が出てくる。
「そういう人は、武器や売りは客
観的なものだけだと思っ込んでい
るのです。売りは内面的なものと外
面的なもの組み合わせ。だから、自
分には見つけられない。誰かに『私
の売りは何？』って聞いてもダメ。
売りを磨くことなら周りが手伝える
けれど、見つけるのは自分です」
自分の売りを知るには、場所を変
えてみるのも1つの手。環境が変わ
ると、気づかなかった自分の強みが
分かることはたくさんある。

PROFILE

石倉洋子（いしくら・ようこ）

上智大学外国語学部英語学科卒業。フリーの通訳等を経て、80年バージニア大学大学院にて経営学修士（MBA）、85年にハーバード・ビジネス・スクールにて経営学博士（DBA）取得。マッキンゼー・アンド・カンパニー勤務を経て、92年青山学院大学国際政治経済学部教授。2000年より現職。



プレイバック

キラリひと言

よいことはこれから起こる
"Best is yet to come."

人生の基本姿勢として、つねにプラス思考で“Best is yet to come (よいことはこれから起こること)”と考えること。過去を振り返って「昔はよかった」と思うのではなく、これから今よりももっとよくなると考えれば、チャレンジ精神が旺盛になります。

「国際派プロ」を目指すのに、日本はマイナー、世界はメジャーと思う必要はないというのも石倉さんの考えた。
「実は、日本と世界でルールが違うことのほうがずっと多い。日本で成功してから世界へという考えでは無駄足に終わることもあります。だったら、最初から両面作戦でやったらいい。ネットのすごいところは、場所に制限されないところ。わざわざ海外に出なくても、それに近い体験はいくらでもできます」
せつかく海外に行ったのに、日本語圏を「持つていつて」しまう人もたくさんいる。要は自分のいる世界の問題なのだ。
「やりたいこと」を軸に、何ができるかを考えてみてほしい。すると、国内でも海外でも、ほとんどのことができることに気づくはずですよ」

NIKKEI 丸の内キャリア塾

日本経済新聞社では、生涯にわたって仕事をしつづけたいと考える女性たちに、キャリアデザインのための幅広い情報を提供し、応援することを目的としたセミナー『NIKKEI丸の内キャリア塾』を2002年から続けています。月1回の女性のためのキャリア学習講座と交流会は毎回、講師への質問が絶えないほどの盛況ぶりです。

NIKKEI 丸の内キャリア塾 スペシャルIRセミナー2008

Theme: 経営者を見る投資

セミナー開催のお知らせ

日時 2月1日(金)
18時30分～20時50分 (開場・受付18:00～)

場所 六本木アカデミーヒルズ40
(東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー40階)

プログラム ※プログラムは変更になる場合がございます。
18:30～19:25 トークショー「経営者を見る投資」

19:25～19:35 会社説明会オリエンテーション

19:50～20:15 個別会社説明会
・三菱東京フィナンシャルグループ
・大和証券グループ本社
・クラウドピア
・トレイダースホールディング

20:20～20:50 交流会
(ドリンクサービスあり)

主催 日本経済新聞社

事務局 日経HR 丸の内キャリア塾事務局

- ・定員 500名(女性限定)※応募者多数の場合は抽選
- ・受講料 無料
- ・応募締切 1月23日(水)
- ・お申し込み <http://www.nikkei.co.jp/adnet/>

お問い合わせ ●セミナーの内容などに関するお問い合わせは
日本経済新聞社 広告局 業務推進部
Tel: 03-5255-2589

●セミナーの受講に関するお問い合わせは
日経HR 丸の内キャリア塾事務局
Tel: 03-6812-7306
Fax: 03-3526-6992

●お問い合わせ受付時間
月～金 10:00～17:00 土、日、祝日は除く

出演者プロフィール

ますい志保さん

明治大学文学部仏文学科卒業。94年に会員制クラブふたご屋開店。2003年5月に子宮がんで倒れるが、抗癌剤治療を終えて復帰。岩手県で果樹農園「日本ステップファーム」を経営。著書に「いい男の条件」「赤い蝶々」「嘘のつき方見抜き方」「12の口癖 成功者たちの幸運を呼び込む言葉」他多数。



藤沢久美さん

(シンクタンク・ソフィアバンク副代表、社会起業家フォーラム副代表、法政大学ビジネススクール客員教授)
国内外の投資運用会社を経て、1996年日本初の投資信託評価会社、アイフィスを起業、代表取締役を務める。1999年アイフィスを、世界的格付会社スタンダード&プアーズ社に売却、同社ディレクターに就任。2000年シンクタンク・ソフィアバンクの設立に参画。現在、副代表。テレビ、ラジオの番組への出演、セミナーや講演会などでも活躍中。著書は、「美人の財布」「子供に聞かせる『お金』の話」「お金を殖やしたいあなたへ」など多数。



ほか1名

詳細および申し込みはこちらから

>>> <http://www.nikkei.co.jp/adnet/>

またはインターネットで「日経アドネット」と検索してください。